

令和5年度事業実施報告

新型コロナウイルス感染症が5月に5類に分類され、これまでのような行動制限がなくなり、定時社員総会は、4年ぶりに来賓の方を招待して開催し、実務者研修会、トップセミナー、労働安全衛生に関する研修会、優良産業廃棄物処理施設等の視察研修、環境学習出前事業（青年部）などの各種事業も対面で実施しました。7月には野木町で暴風災害が発生し、県との「栃木県災害廃棄物等の処理応援に関する協定及び覚書」に基づき小山広域保健衛生事務組合が担う災害廃棄物の処理の対応をしたほか、8月には栃木県と「家畜伝染病の発生時における防疫対策への協力に関する協定」を締結し、2月には協定に基づき殺処分された家畜の搬送業務を支援しました。

また、公益社団法人全国産業資源循環連合会関東地域協議会では、昨年度から議論を重ね完成した「災害時における災害廃棄物の処理等に係る相互応援に関する協定」について、環境省の立ち会いのもと、各都県7協会と6月末日に締結しました。

つきましては、産業廃棄物の適正処理と業界の社会的地位の確立を図るために実施しました令和5年度の事業実績をここに報告します。

I 【公益目的事業】

1 適正処理推進事業

(1) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の普及啓発及び頒布

産業廃棄物の適正処理のため、廃棄物処理法で義務付けられている産業廃棄物管理票の普及啓発を推進するほか、公益社団法人全国産業資源循環連合会が作成した管理票を広く排出事業者や産業廃棄物処理業者等に頒布拡大を図った。令和5年度は、産業廃棄物マニフェスト79,800セット、建設系廃棄物マニフェスト192,000セットを頒布した。

(2) 排出事業者、処理業者、県民等に対する産業廃棄物に関する相談・指導

排出事業者、処理業者、県民等からの産業廃棄物に関する相談に指導・助言するとともに、排出事業者からの処理業者の問い合わせに対し、適正処理を行う会員処理業者等の紹介をするなど、約4,000件の適切な指導助言を行った。

(3) 廃棄物処理アドバイザー事業

排出事業者の委託契約、マニフェストの運用、廃棄物処理法第12条第7項に定める処理状況現地確認、法に基づく手続き等の際し、支援、助言を行った。11件契約。

(4) 産業廃棄物の適正処理等に関する調査研究

公益社団法人全国産業資源循環連合会や関係機関と連携して、産業廃棄物の適正処理等に関する動向や課題等を把握するための調査研究を行った。

(5) 不法投棄・不適正処理防止対策の推進

栃木県と締結している「不法投棄等の情報提供に関する協定」に基づき、不法投棄等の監視を実施しているが、令和5年度の通報案件はなかった。

(6) 災害廃棄物処理支援事業

栃木県と災害廃棄物等の処理応援協定を締結している3団体（公益社団法人栃木県産業資源循環協会、一般社団法人栃木県環境美化協会、栃木県環境整備事業協同組合）、栃木県及

び県内各市町で、水害を想定した災害廃棄物処理に係る支援要請伝達訓練を実施し、課題等を整理した。

2 研修事業

(1) 産業廃棄物処理の適正処理等に係る実務者研修

①産業廃棄物処理業における実務者研修会

産業廃棄物の適正処理の推進及び産業廃棄物処理業者の資質向上を図るため、産業廃棄物処理業者や排出事業者等の産業廃棄物を取り扱う実務担当者を対象に、各種リサイクル法の現状と課題等について研修会を実施した。

日 時：令和5年10月18日（水）13：30～16：00

場 所：栃木県総合文化センター（宇都宮市）

参加者：46名（会員22名、非会員13名、行政11名）

内 容：リサイクル推進と廃棄物処理法の許可不要制度について

講 師：BUN環境課題研修事務所 長岡 文明 氏

②産業廃棄物処理検定の試験対策研修会

産業廃棄物処理検定の合格を目的とした試験対策研修会を2回実施した。

・日 時：第1回 令和5年8月4日（金）10：00～16：00

場 所：とちぎ福祉プラザ（宇都宮市）

参加者：20名

内 容：産業廃棄物処理の基礎、産業廃棄物の委託処理と委託契約、産業廃棄物管理票・帳簿

講 師：(公社)栃木県産業資源循環協会 専務理事 湯澤 元浩 氏

・日 時：第2回 令和5年12月5日（火）10：00～16：00

場 所：パルティ（宇都宮市）

参加者：19名

内 容：産業廃棄物処理の基礎、産業廃棄物の委託処理と委託契約、産業廃棄物管理票・帳簿

講 師：(公社)栃木県産業資源循環協会 専務理事 湯澤 元浩 氏

〃

事務局長 大森 牧子 氏

③講師とコミュニケーションできる座学研修会

業務で活用できるかもしれない“プチ情報”を座学とプレゼンで情報提供する座学研修会を実施した。

日 時：令和5年11月20日（月）13：30～16：00

場 所：栃木県総合文化センター（宇都宮市）

参加者：21名

内 容：①県営処分場エコグリーンとちぎ（産業廃棄物管理型最終処分場）の概要等について

②適正処理のために必要な廃棄物情報

③事業紹介

講師：①株式会社クリーンテックとちぎ 代表取締役 安藤 由紀男 氏 他3名
②公益社団法人栃木県産業資源循環協会 事務局長 大森 牧子 氏
③平成理研株式会社 本社営業部課長 仁平 充洋 氏、佐藤 正啓 氏
(一財)栃木県環境技術協会 技術部外渉局長兼営業担当課長 土谷 友彦 氏
栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 石濱 辰郎 氏

(2) 産業廃棄物の減量化・再生利用等に関する研修

栃木県、宇都宮市、(公財)栃木県環境保全公社等との共催により排出事業者及び産業廃棄物処理業者を対象に、廃棄物処理法の改正等に関する講習会を実施した。

①排出事業者における産業廃棄物の適正処理及び排出抑制に関する講習会

日時：令和5年11月7日(火) 14:00～16:40

場所：宇都宮市立南図書館(宇都宮市)

参加者：305名

内容：第1部 適正処理に関する講習会

産業廃棄物の適正処理のために

講師：行政書士大澤利昭事務所 大澤 利昭 氏

第2部 発生抑制に関する講習会

循環型社会の実現に向けたリコーグループの取り組み

講師：株式会社リコー ESG戦略部ESGセンター 新井 繁邦 氏

②産業廃棄物処理業者における産業廃棄物適正処理講習会

日時：令和6年2月2日(金) 14:00～16:00

場所：栃木県教育会館(宇都宮市)

参加者：134名

内容：プラスチックの国内資源循環に向けて

講師：一般社団法人プラスチック循環利用協会 専務理事 土本 一郎 氏

(3) 労働安全衛生に関する研修会

産業廃棄物処理業における労働安全衛生の向上と現場における労働災害の減少を図るため、栃木県内の労働災害の発生状況や貨物自動車における荷役作業時の墜落・転落防止対策の充実に係る労働安全衛生規則改正のポイントなどについての研修会を実施した。

日時：令和6年2月13日(火) 13:30～16:00

場所：とちぎ福祉プラザ(宇都宮市)

参加者：30名

内容：機械や電動工具の運転操作による労働災害の防止について

講師：二階堂労働安全コンサルタント事務所 二階堂 久 氏

(4) トップセミナー

産業廃棄物処理業に関わる環境の変化や社会的ニーズに対応するため、産業廃棄物処理業者の経営者層を対象にカーボンニュートラルの概要や事業を通してどのような取り組みができるかについて研修会を実施した。

日時：令和5年10月25日(水) 13:30～16:00

場所：栃木県総合文化センター(宇都宮市)

参加者：23名

内 容：①なぜカーボンニュートラル 私達にできることは何？

②今日からはじめる脱炭素

講 師：①栃木県環境森林部気候変動対策課長 武藤 慶人 氏

②栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 石濱 辰郎 氏

3 普及啓発・情報提供事業

(1) 産業廃棄物処理施設に係る県民の理解促進

栃木県、(公財)栃木県環境保全公社等と連携を図りながら、産業廃棄物処理施設の重要性や安全性について正確な情報を発信するなど、処理施設に対する県民の理解促進のための事業を行った。

○ごみ処理施設見学コンシェルジュ事業

「ごみ処理施設」を直接見学し、ごみ処理やリサイクルについて理解を深めるための事業を実施した。

○廃棄物処理施設紹介動画

経営者にスポットを当て、仕事に対する思いや取り組み方などのほか、どのような廃棄物をどのように処理・再資源化しているかをネットの動画で紹介する「廃棄物処理施設理解促進動画」を作成した。

○環境学習出前授業

青年部員が県内の小学校等に出向き、パッカー車（ごみ収集車）の仕組みやごみ収集の仕事などについて、実物を見ながら説明をしたほか、パッカー車を操作する作業を体験してもらった。

開催日	場所
【第1回】令和5年7月5日（水）	大田原市立蛭田小学校
【第2回】令和5年7月14日（金）	佐野市立犬伏東小学校
【第3回】令和5年9月26日（火）	茂木町立中川小学校
【第4回】令和5年9月27日（水）	那須町立黒田原小学校
【第5回】令和5年10月6日（金）	益子町立益子小学校
【第6回】令和5年10月24日（火）	那須町立田代友愛小学校
【第7回】令和5年10月25日（水）	那須町立東陽小学校
【第8回】令和5年11月28日（火）	真岡市立大内西小学校

(2) 協会だよりの発行（令和5年4月号第133号～令和6年3月号第144号）

廃棄物行政情報、産業廃棄物処理業界の実態や動向、協会の活動状況などについて、協会機関誌「協会だより」を毎月1回発行するとともにホームページにも掲載し、産業廃棄物行政や協会の活動状況等各種情報を提供した。

(3) ホームページの運営

排出事業者や処理業者等に産業廃棄物に関する最新の情報をより迅速に発信するとともに、協会の事業活動について情報提供を行った。

4 栃木県環境保全緊急対策基金事業

栃木県環境保全緊急対策基金からの執行はなかった。年度末の基金残高 約 78 百万円を足利銀行の決済用普通預金に預けている。

II 【共益事業等】

1 組織強化事業

(1) 新規会員の加入促進による組織の強化

協会組織の充実強化を図るため、県内に事業所を有する協会未加入許可業者に対し入会案内通知を送付するほか、許可申請等に関する講習会や各種研修会等の場を活用して加入を勧めるなど、新規会員の加入促進に努めた。

◆会員の動向（令和6年3月31日現在）

会員種類	令和4年度	令和5年度	(令和5年度内訳)	
			新規加入	退会
正会員	194社	198社	5社	1社
賛助会員	23社	23社	1社	1社
合計	217社	221社	6社	2社

(2) 会員名簿の作成・配布

会員の最新の許可事項及び災害廃棄物処理応援体制を取り纏めた名簿を作成し、会員、行政機関及び関係団体機関に配布した。

2 意識啓発向上事業

(1) 表彰

産業廃棄物の適正処理に貢献し、県民の生活環境の保全に寄与した個人及び事業所の功労を讃え顕彰するため、当協会の各種表彰並びに行政及び上部団体への推薦を行った。

①協会会長表彰	協会功労者	2名
	優良事業所	5社
	永年勤続者	5名
	優良従事者	10名
②公益社団法人全国産業資源循環連合会会長表彰	功労者	1名
	地方功労者	2名
	優良事業所	1社
	地方優良事業所	5社
	優良従事者	6名
③栃木県公衆衛生大会 知事表彰	保健衛生事業功労者	1名
	大会長表彰	保健衛生事業功労者 2名
④循環型社会形成推進功労者等大臣表彰	産業廃棄物関係事業功労者表彰	1名

(2) 優良産業廃棄物処理施設等の視察研修

産業廃棄物処理施設の最新の情報等を収集するため、視察研修会を実施した。

日 時：第1回 令和5年11月30日（木） 9：30～11：30
第2回 " 13：30～15：30
第3回 令和5年12月7日（木） 13：30～15：30

視察先：エコグリーンとちぎ（那珂川町）

産業廃棄物管理型最終処分場（クローズド型）

参加者：48名（第1回13名、第2回11名、第3回24名）

（3）反社会的勢力排除のための研修会

産業廃棄物処理業界から反社会的勢力を排除するため、最近の暴力団情勢や産業廃棄物処理業界における暴力団排除対策の必要性などについて、研修会を実施した。

日 時：令和5年9月25日（月）13：30～16：00

場 所：栃木県総合文化センター（宇都宮市）

参加者：28名

内 容：①暴力団の現状と対策について

②反社会的勢力による不当要求対応要領について

講 師：①栃木県警察本部 刑事部組織犯罪対策第一課 菊地 慎也 氏

②（公財）栃木県暴力追放県民センター 寺崎 耕 氏

（4）行政等からの情報伝達

行政や関係団体からの法改正や各種研修会の案内等をホームページや郵送等により最新の情報を迅速に発信し、会員の資質向上及び適正処理の推進に努めるほか、「メール配信サービス」を希望する方には、電子メールでの配信も並行して行った。

（5）許可更新の通知

会員の産業廃棄物処理業許可の期限切れを防止するため、対象会員に対し処理業許可の更新の通知を行った。

3 他団体との交流・協力事業

（1）行政との意見交換会

産業廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進を図るため、協会員に行政への意見・要望をアンケートした結果を踏まえ、栃木県、宇都宮市の産業廃棄物行政の現状や課題等について、栃木県及び宇都宮市の担当課長、職員等と当協会理事による意見交換会を実施した。

日 時：令和5年8月1日（火）10：00～11：30

場 所：栃木県庁北別館（宇都宮市）

参加者：当協会14名、栃木県9名、宇都宮市3名

内 容：意見・要望事項

①災害を想定した中間処理施設側の準備

②市町の処理困難物

③事業者に対する指導と業界支援

④県内における廃品・不用品回収業者に対する行政の取り組み

⑤エコグリーンとちぎ

(2) 排出事業者（団体）との意見交換会

喫緊した課題がないため、今年度は開催を中止とした。

(3) 公益社団法人全国産業資源循環連合会等が実施する行事等への参加

公益社団法人全国産業資源循環連合会や栃木県等が実施する諸会議や各種事業に積極的に参加し、産業廃棄物に関する諸課題などについて相互理解を深め、情報の収集や提供など行政や関係団体との連携を図った。

(4) 許可申請等に関する講習会

公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターと連携を図りながら「産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会（新規及び更新）」及び「特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会」の開催にあたり、栃木会場の運営にあたった。また、パソコンをお持ちでない方、パソコン操作が苦手な方、Web環境が整っていない方などを対象に、受講申し込みや講義動画の視聴について支援した。

○栃木会場（会場：コンセーレ（宇都宮市内））

開催日	課程	受講者数
令和5年6月29日	新規 収集運搬	68
	特別管理産業廃棄物管理責任者	72
令和5年6月30日	更新 収集運搬	75
令和5年8月30日	特別管理産業廃棄物管理責任者	69
	更新 収集運搬	71
令和5年9月28日	新規 収集運搬	66
	更新 処分運搬	45
令和5年9月29日	特別管理産業廃棄物管理責任者	53
	更新 収集運搬	72
令和6年1月30日	特別管理産業廃棄物管理責任者	73
	更新 収集運搬	52
令和6年1月31日	更新 収集運搬	34
	新規 収集運搬	66

4 栃木県環境保全対策基金事業

栃木県環境保全対策基金は、昭和63年から3ヵ年計画で造成を開始し、令和6年3月31日現在、受取利息を含めて約450百万円を造成することができた。なお、基金は足利銀行の普通預金（決済用普通預金）、国債等で管理している。

III【管理事業】

1 総会・理事会等の開催

産業廃棄物処理業界の社会的地位と発展を図るため、以下の会議等を通じて、組織の活性化を図った。

(1) 定時社員総会

令和5年5月19日に第12回定時社員総会を会員166名（委任状出席を含む）の参加によ

り宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて開催し、令和4年度事業実施報告及び決算承認、役員の報酬等及び費用に関する規程の一部改定について、満場異議なく原案どおり承認、可決された。

(2) 理事会

年6回開催し、総会で議決した事業計画に基づく事項等の執行について、審議、決定した。

(3) 三役会

年6回開催し、理事会で審議する事項等について協議を行った。

(4) 委員会及び部会

産業廃棄物の適正処理の推進と産業廃棄物処理業の社会的地位の確立を図るため、産業廃棄物処理に関する動向や諸課題を把握し、事業展開の方向性、情報の共有化等に向けて検討を行った。

- ・適正処理・調査研究委員会
- ・研修委員会
- ・普及啓発・情報委員会
- ・相談指導委員会
- ・建設廃棄物部会

(5) 交流会

令和6年1月19日に宇都宮市の宇都宮東武ホテルグランデにおいて、会員相互の交流親睦や情報交換を行うため、協会員、栃木県及び宇都宮市の環境行政や議会議員、関係団体など129名が集い、賀詞交歓会を実施した。

(6) その他

① 栃木県日光杉並木街道保護基金への寄附

日光杉並木街道の保護のため、設置者である栃木県に10万円の寄附を行った。

② 栃木県誕生150年記念における樹木パートナー事業への寄附

栃木県誕生150年記念事業の趣旨に賛同した会員38社と協会の連名で2本の樹木パートナー（提案方式：1本150万円）として、300万円（会員190万円、協会110万円）の寄附を行った。